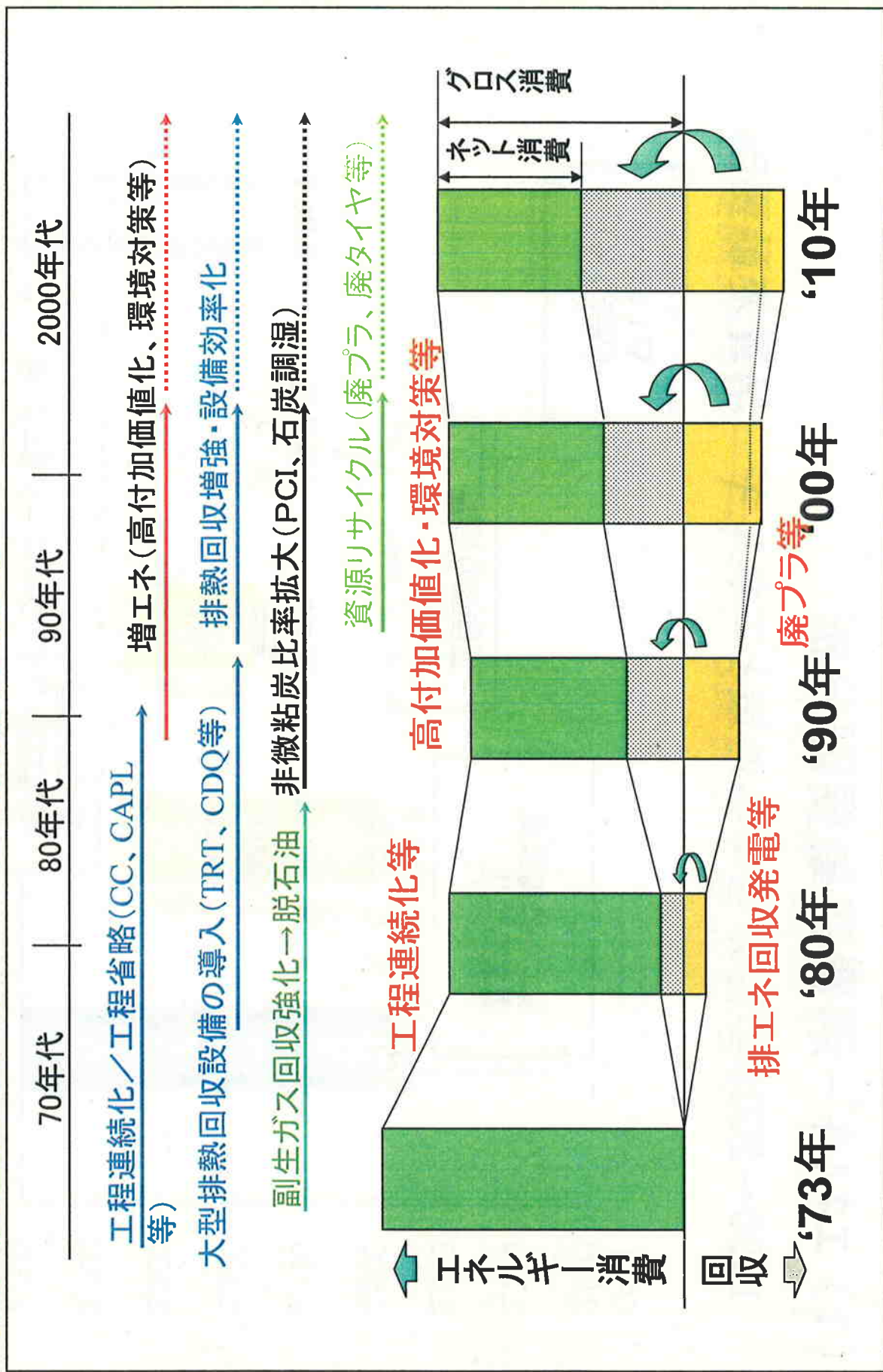


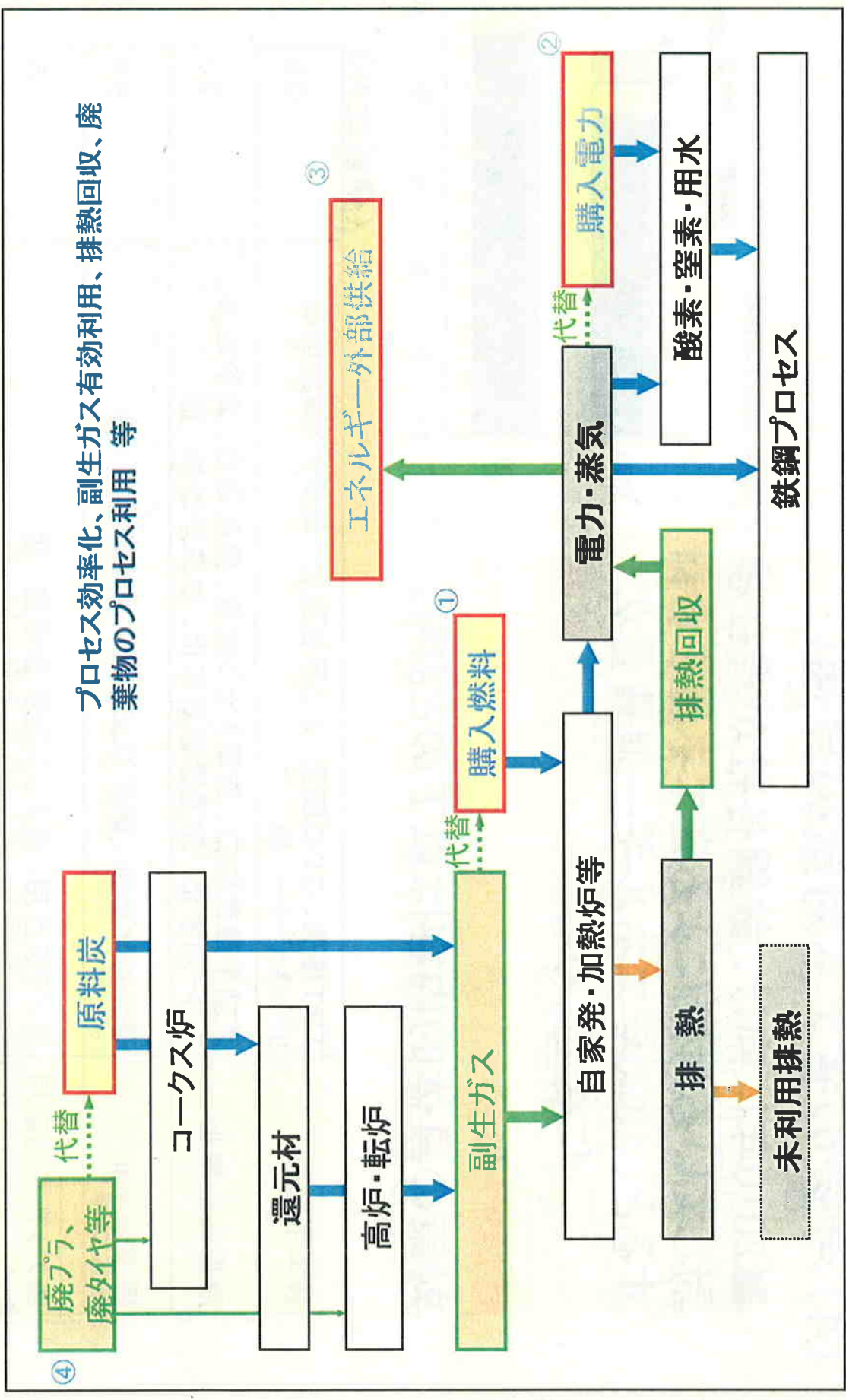
# I. これまでの省エネへの取り組み

## (2) 省エネルギーへの取組の推移



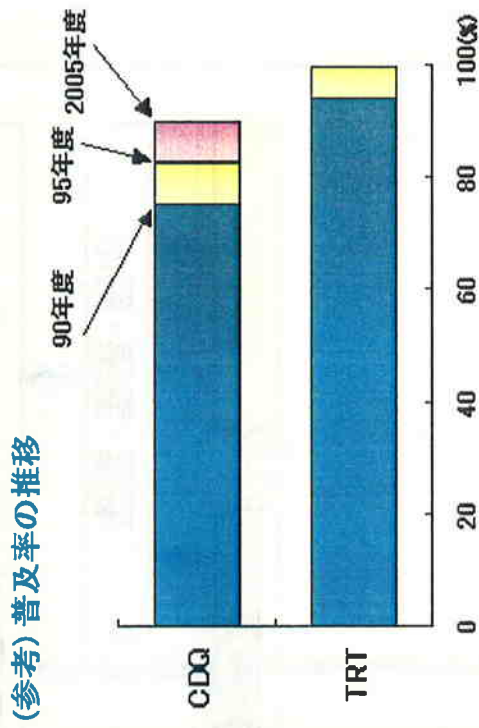
# I. これまでの省エネへの取り組み

## (3) エネルギーの多段階(カスケード)利用



## (4) 今後の省エネ対策の見通し

■ 2010年に向け、鉄鋼各社が現在検討している対策による省エネ量を合計すると、1990年エネルギー消費量の約3.4%に相当。うち約1/3は予算措置置済み。



対策の具体的内容は以下のとおり。

		(構成比%)
排エネ回収	TRT増強、CDQ新設、ガス回収強化、転炉ガス顕熱回収、リジエナー 他	25
設備高効率化	高効率酸素設備、発電タービン改良、焼結改良、高炉改修、モーター効率化、発電設備効率率化、熱風炉改修 他	20
操業効率化	還元材比低減、鋼材温度管理、冷鉄源利用 他	45
廃プラ等有効活用	廃プラ等活用、廃プラ処理設備増強 他	5
その他	ダストリサイクル、石炭調湿、鉱石事前処理 他	5